



Project Z NAVI de HANSHIN !

平成24年度情報配信実験モニターアンケートまとめ

アンケート概要



実施目的	<ul style="list-style-type: none">・平成25年3～5月に実施した「Project Z NAVI de HANSHIN!」の情報配信実験にて提供したサービスについて、利用者側からの有益性を評価する。・今後の実験や実用化を見据え、安全・安心で快適な走行支援に関する情報配信サービスへのニーズを把握する。
実施期間	平成25年3月6日～5月31日
実施方法	ナビタイムジャパン提供の情報配信アプリ『阪神高速SAFETYドライブ』のダウンロードサイトにアンケート回答画面を設置し、利用者に対して本サービス利用後の回答を依頼
設問項目	<p>(1) 本実験で提供した情報の有益性</p> <ul style="list-style-type: none">①案内された情報の適切さ（内容・情報量・タイミング）②案内された情報の役立ち度 <p>(2) 今後の情報提供へのニーズ</p> <ul style="list-style-type: none">①情報を確認するタイミング②ナビゲーションから提供してほしいと思う情報③情報を得たい手段④本実験のような情報配信サービスへのニーズ（阪神高速道路、全国高速・主要道路）
分析方法	<ul style="list-style-type: none">・設問ごとに集計

アンケート結果および総括



※各設問に関する詳細結果は次頁以降を参照。

(1) 本実験で提供した情報の有益性

- ① 配信した情報の内容については約9割、情報量およびタイミングについては約8割のモニターが適切であったと評価した。
- ② 配信した3情報のうち、交通事故多発地点については約8割、分合流部における安全運転に関する情報および工事予定情報については約7割が役に立ったと評価した。

(2) 今後の情報提供へのニーズ

- ① 情報配信のタイミングについては出かける前と出かけている最中の両方確認するモニターが約4割で最も多く、運転計画時、走行中のいずれのタイミングにおいても情報提供による支援ニーズがあった。
- ② 快適な運転に資する配信内容については、ガソリンスタンドや駐車場、気象等に対してそれぞれ約5~6割のニーズがあった。
- ③ 情報配信媒体については、カーナビやスマートフォン、道路の電光掲示板・標識等といったリアルタイムの走行中に確認できる媒体に対して約7~8割のニーズがあった。
- ④ 本実験のような情報配信サービスへのニーズについては、本実験のフィールドである阪神高速道路に限らず、全国の高速道路・主要道路に対して約9割のモニターが「利用したい」と回答した。

<総括>

- ◆ 本実験で提供した情報については、内容、情報量、タイミングのいずれの面でも一定程度は適切であったと評価されたが、道路関連情報をドライバーにきめ細やかに配信するために今後も改善の余地がある。
- ◆ 今後の情報提供にあたっては、運転計画時・走行中のそれぞれに対応した適切な情報配信や、快適な運転に資する内容としてニーズの高かった情報を付加していくことなどを検討していく必要がある。
- ◆ 全国への効率的な展開・サービスの実用化を見据え、本実験を通じて整理された課題に対して早期の解決を図っていく必要がある。

(1)本実験で提供した情報の有益性 ①配信情報の適切さ

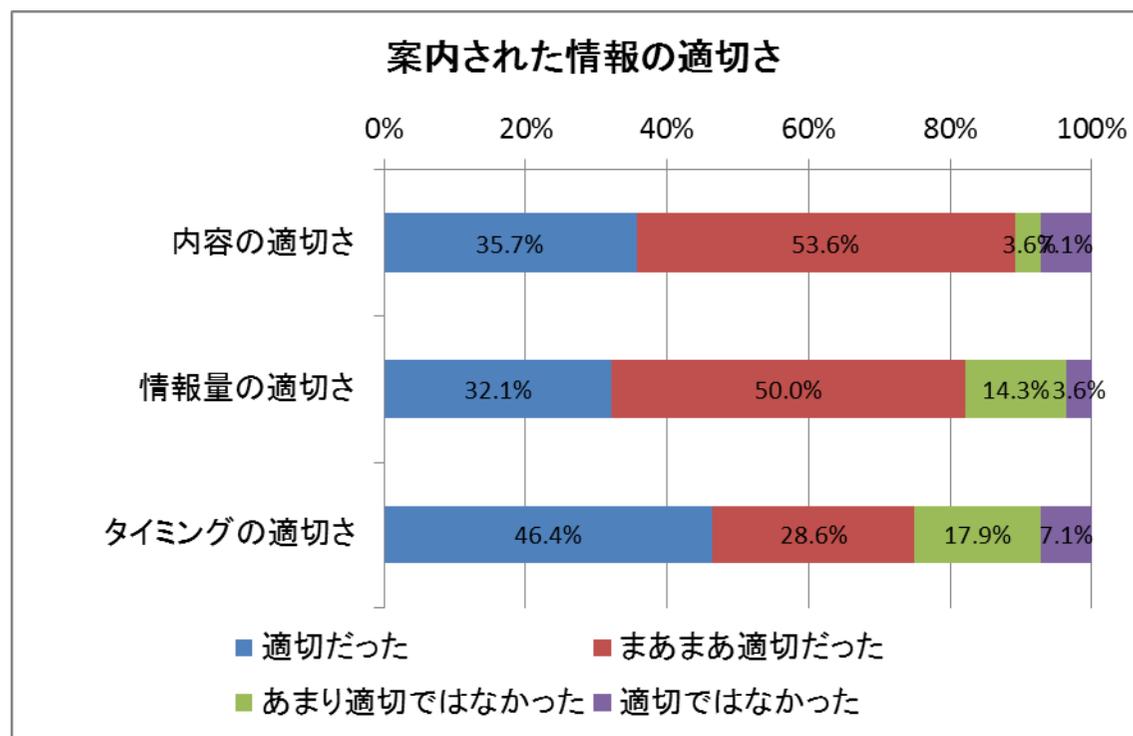


<アンケート内容>

- 実験で配信した情報（交通事故多発地点情報、分合流部における安全運転に関する情報、工事予定情報）について、内容、情報量、タイミングについて利用者からの評価を把握するため、それぞれの適切性についてモニターに評価をしてもらった。

<調査結果>

- 情報の内容については約9割、情報量およびタイミングについては約8割が適切と評価（「適切だった」と「まあまあ適切だった」の合計）と評価しており、高い評価を得た。



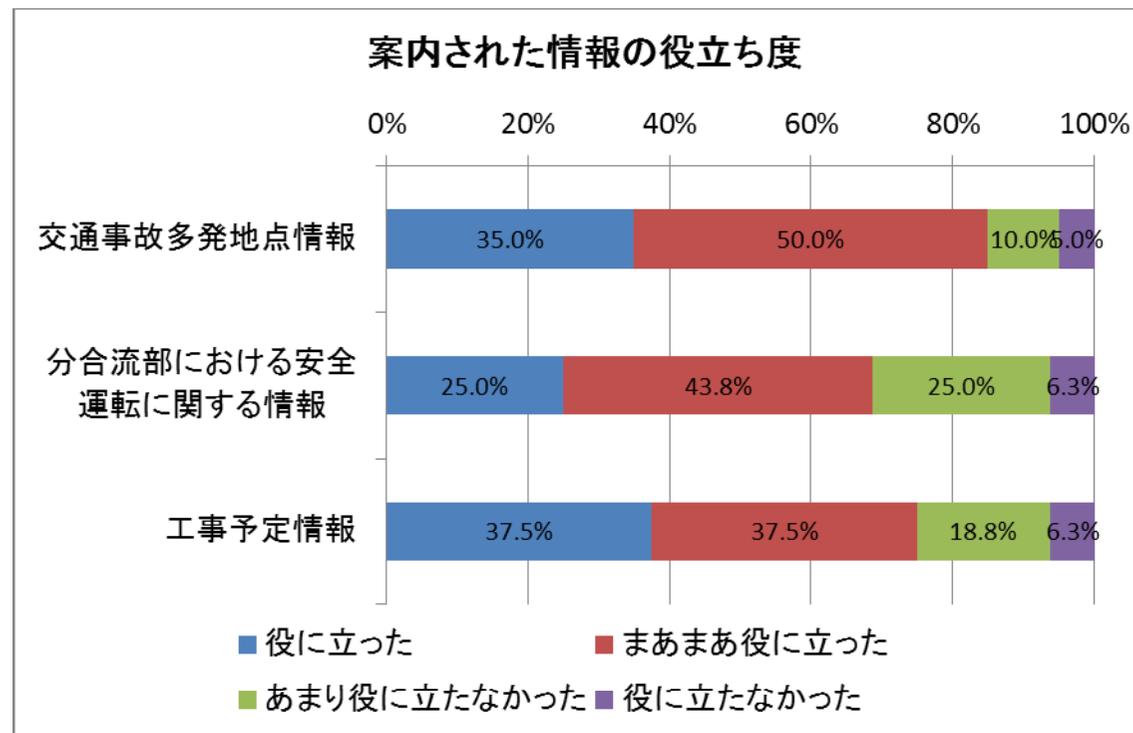
(1)本実験で提供した情報の有益性 ②配信情報の役立ち度

<アンケート内容>

- 実験で配信した情報（交通事故多発地点情報、分合流部における安全運転に関する情報、工事予定情報）が利用者にとって役に立ったかどうかを把握するため、それぞれの程度役に立ったかをモニターに評価をしてもらった。

<調査結果>

- 3種の情報ともに役に立った（「役に立った」と「まあまあ役に立った」の合計）と評価した割合が約7～8割で高い評価を得た。



(2)今後の情報提供へのニーズ ①情報を確認するタイミング

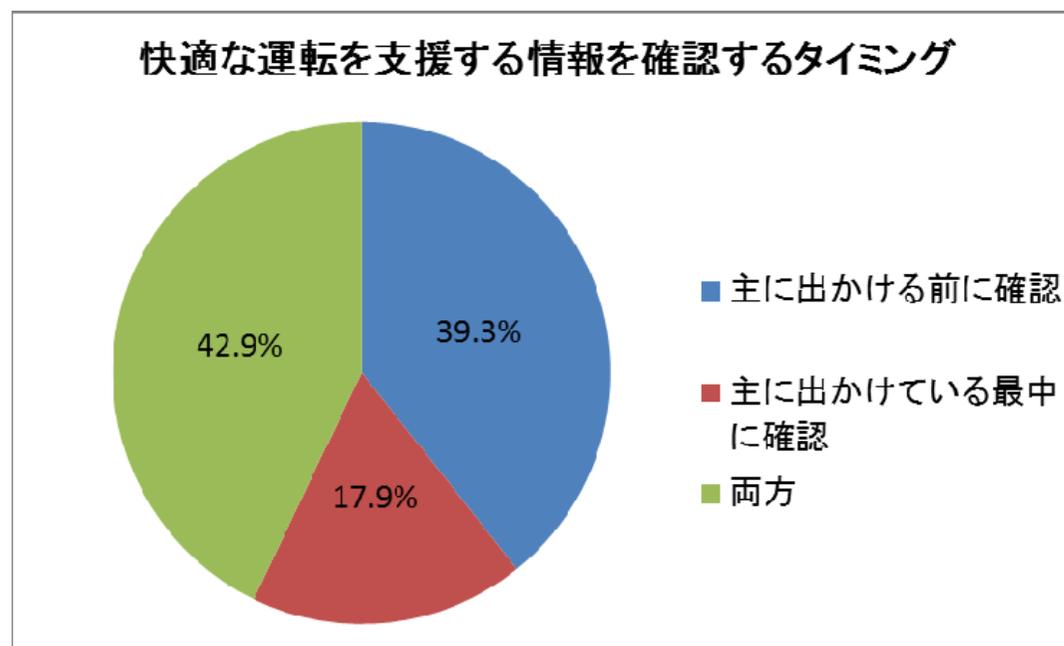


<アンケート内容>

- 今後の情報提供へのニーズ把握のため、モニターが運転を支援する情報を確認するタイミングについてモニターに伺った。

<調査結果>

- 情報を確認するタイミングは、「主に出かける前に確認」が約4割、「主に出かけている最中に確認」が約2割、「両方」が約4割であることから、出かける前・出かけている最中ともに情報提供のニーズがあると考えられる。



(2)今後の情報提供へのニーズ ②提供してほしい情報

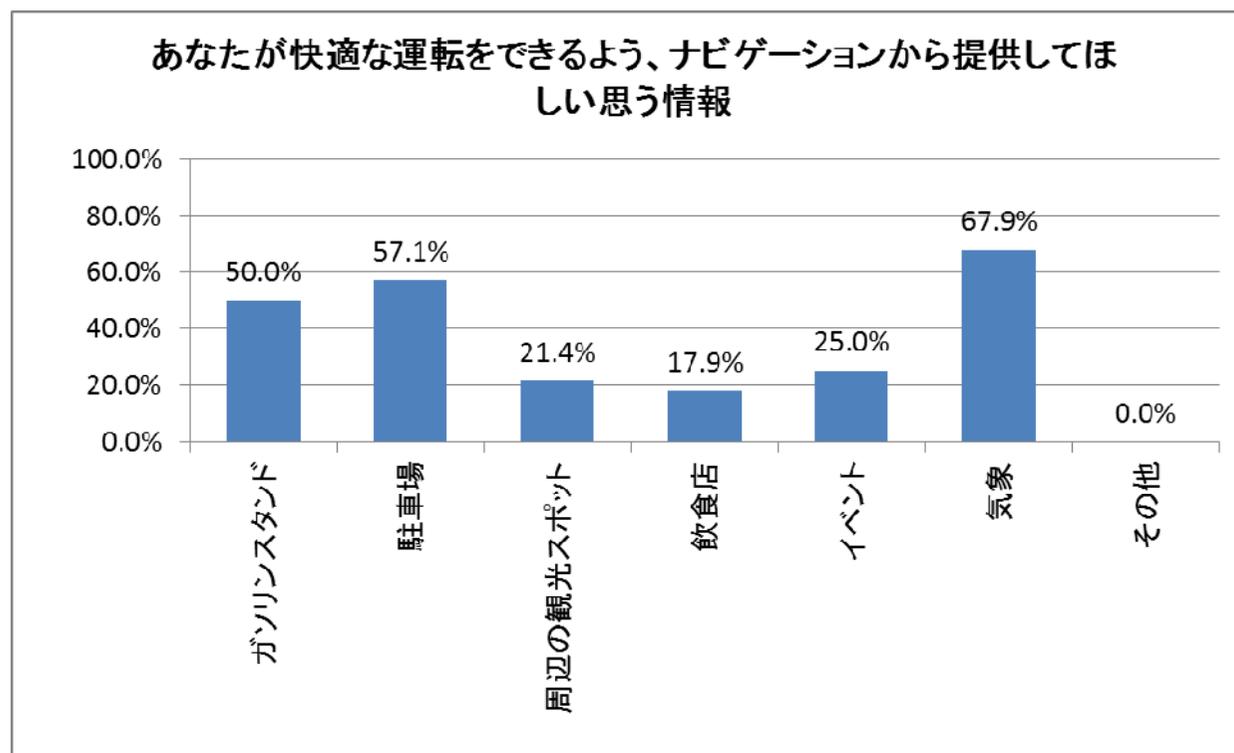


<アンケート内容>

- 今後の情報提供へのニーズ把握のため、快適な運転のためにナビゲーションから提供してほしい情報についてモニターに伺った。

<調査結果>

- 「気象」が約7割、「駐車場」が約6割、「ガソリンスタンド」が約5割と多いが、「イベント」「周辺の観光スポット」「飲食店」についてもそれぞれ2割程度のニーズがある。



(2)今後の情報提供へのニーズ ③情報提供の手段

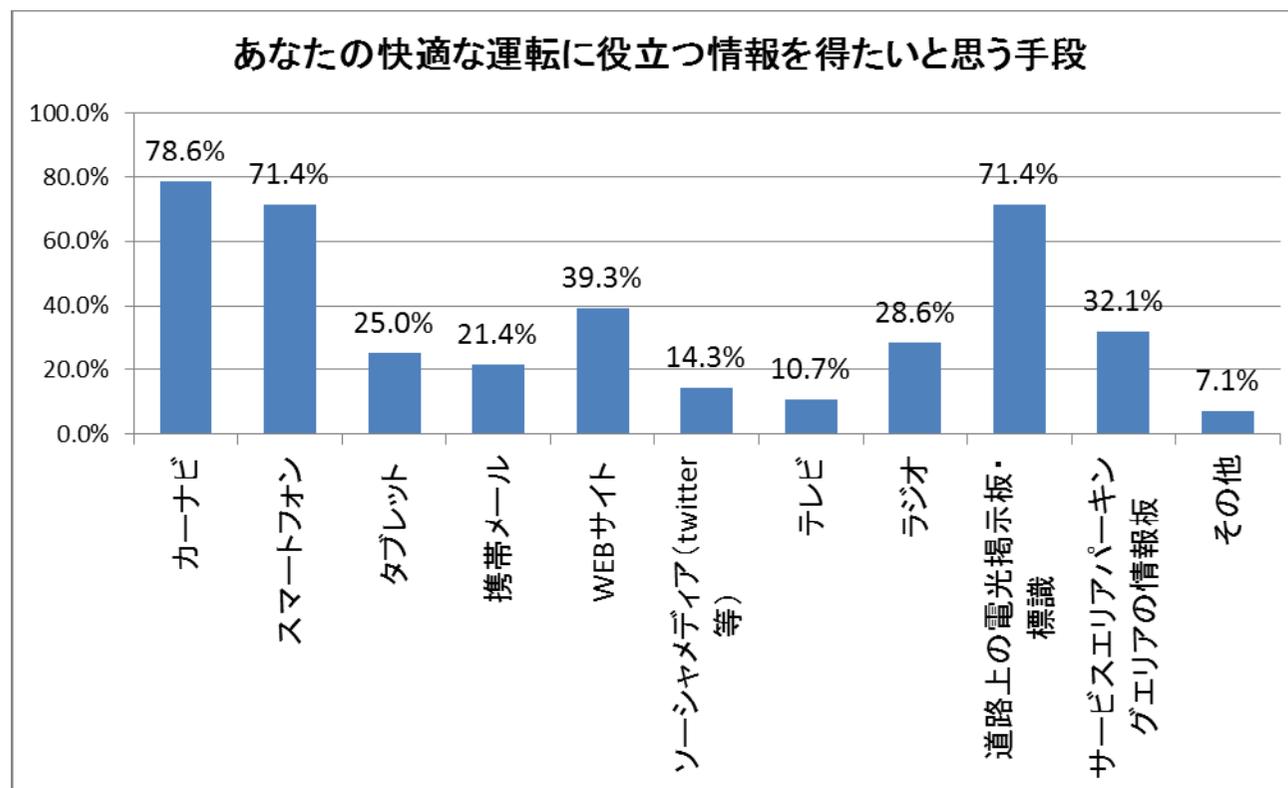


<アンケート内容>

- 今後の情報提供へのニーズ把握のため、快適な運転のための情報を受け取る手段についてモニターに伺った。

<調査結果>

- 快適な運転に役立つ情報を得たいと思う手段として、「カーナビ」が約8割、「スマートフォン」と「道路上の電光掲示板・標識」が約7割と特に高く、次いで「WEBサイト」が約4割であった。



(2)今後の情報提供へのニーズ ④同種サービスへのニーズ



<アンケート内容>

- 今後の情報提供へのニーズ把握のため、本実験のような情報提供サービスについて、阪神高速および全国的高速道路・主要道路における利用意向についてモニターに伺った。

<調査結果>

- 本実験のような情報提供サービスへのニーズについては、阪神高速道路および全国高速道路・主要道路ともに9割以上が「利用したい」と回答しており、ニーズが高い結果となった。

